

# 一般社団法人 優良家庭犬普及協会 Good Citizen Test Regulation 合否判定の基準書(レギュレーション)変更のお知らせ

2016年9月に、合否判定の基準書(レギュレーション)の一部が変更致しました。  
変更箇所は赤字部分となりますので、受験前にご確認下さいますよう、お願い申し上げます。

一般社団法人 優良家庭犬普及協会

合否判定の基準(抜粋) Sep. 2016

## A1. 犬 Dog (\*優良家庭犬認定の場合)

基本的に室内飼育  
生後1年以上\*  
避妊・去勢済\*  
健康である、もしくは現在治療中であるとの診断書を提出  
人畜共通感染症無し  
皮膚病無し  
外部寄生虫無し  
内部寄生虫無し(\*フィラリア治療中の犬は、その旨を診断書に記入)  
適切なグルーミング済  
清潔、体臭等無し

受験日から遡り、1年以内に以下の予防接種を受けている

狂犬病  
混合ワクチン(\*ジステンパーとパルボは必須)

\*事情により接種出来ない場合、狂犬病については病院が発行する『接種猶予証明書』(コピーも可)を、混合ワクチンについては『抗体価検査』を受け、その結果を元に抗体価が十分であることを証明する書類を提出すること

## A3. 首輪とリード(引き綱) Collar and Leash

テスト中は終始同じ首輪または胴輪(ハーネス)を着用する  
ただし、引っ張り防止のためにデザインされた補助道具(ジェントル・リーダー、イージーウォークハーネスなど)は、条件付で認める \*呼び戻しと留守番のテストでは、リードは首輪につけかえること

## ● 各テスト項目で使用出来る号令(声符・視符・補助)回数の表記を統一しました。

### 2. 飼い主が他人に挨拶をする間、座って待つ

Sit while Owner Greets Friendly Stranger

判定員:「終わり」を告げる

「はい」の後、号令(声符・視符・補助)は3回までとする

### 3. 座って他人に触れられる

Sit & Accept Petting by Stranger

判定員:「終わり」を告げる

「はい」の後、号令(声符・視符・補助)は3回までとする

#### 4. リード付きで歩く

Out for a Walk

判定員:「終わり」を告げる

スタート後の号令(声符・視符・補助)は9回までとする

#### 5. リード付きで人込みを歩く

Slack walk on Leash through a Crowd

判定員:「終わり」を告げる

スタート後の号令(声符・視符・補助)は3回までとする

#### 6. 各種「刺激」の中を歩く

Slack Leash Walk through Distractions

判定員:「終わり」を告げる

スタート後の号令(声符・視符・補助)は3回までとする

#### 7. 飼い主の横でふせ、待て10秒間

Down-stay beside Owner for 10 Seconds

判定員:「終わり」を告げる

「はい」の後、号令(声符・視符・補助)は3回までとする

#### 8. 飼い主から1.8m離れて30秒「おすわり・待て」

30-second SIT-STAY, Owner 1.8 meters Away

判定員:「終わり」を告げる

「はい」の後、号令(声符・視符・補助)は3回までとする

#### 10. 呼び戻し(6mのリード付き)

6-meter Recall On Leash

判定員:犬が座ったことを確認するまでは、「終わり」を告げることはしない

判定員が呼び寄せる指示を出した後の号令(声符・視符・補助)は3回までとする

#### 11. 他の犬とのすれ違い

Reaction To Another Dog (On Leash)

判定員:「終わり」を告げる

スタート後の号令(声符・視符・補助)は5回までとする

